

研究課題名	脳卒中レジストリを用いた広島脳卒中診療実態の把握（新 HARP Study）
研究期間	実施許可日 ～ 2030年 3月 31日
研究の対象	2020年7月から2028年3月の間に、広島大学病院・共同研究機関の脳神経内科に入院した脳卒中の患者さんが対象です。他診療科に入院した脳卒中患者さん、院内発症の脳卒中患者さんで、脳神経内科に相談があり診断、治療に関わった患者さんも含みます。
研究の目的・方法	研究目的：脳卒中の診療実態を把握し医療の質の向上に役立てることを目的としています。 研究の方法：診療録（カルテ）情報を調査して行います。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、既往歴、喫煙歴、飲酒歴、家族歴、来院方法、入院前内服薬、発症状況、発症から来院までの時間、発症時症状、脳卒中発症日、入院日、診断名、診察所見、画像所見、血液検査所見、治療内容（手術、投薬）、退院日、生存状況（退院時、90日後）、脳卒中後遺症度（modified Rankin Scale: 退院時、90日後） 試料：なし
利用または提供を開始する予定日	当院における実施許可日 2024年 10月 16日
個人情報の保護	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。具体的な方法としては、情報を研究に使用する際に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。そのため、情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。本研究で得られたデータを将来別の研究で使用する場合には、改めて倫理審査を受け承認を得た後に使用します。その場合も、匿名化された情報を使用するため個人が特定されることはありません。
外部への試料・情報の提供	上述のように誰のものか分からないように加工された情報を、パスワードをかけたエクセルデータとして、広島大学にメールで送信します。広島大学にてデータベースとして取りまとめたデータを共有して、本院・共同研究機関において解析されます。
研究組織	当院の研究責任者 国立病院機構呉医療センター 脳神経内科 科長 大下 智彦 研究機関の長 国立病院機構呉医療センター 院長 繁田 正信  研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科 脳神経内科学 教授 丸山 博文

	<p>共同研究機関</p> <p>広島市民病院 脳神経内科 野村 栄一、河野 智之          県立広島病院 脳神経内科 越智 一秀、木下 直人          安佐市民病院 脳神経内科 山下 拓史、原 直之          翠清会梶川病院 脳神経内科 下村 怜          東広島医療センター 脳神経内科 末田 芳雅          中国労災病院 脳神経内科 北村 健、山田 英忠          呉医療センター 脳神経内科 大下 智彦          脳神経センター大田記念病院 脳神経内科 寺澤 由佳</p>
<p>その他</p>	<p>—</p>
<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>〒737-0023 呉市青山町 3-1          T e l : 0823-22-3111 (代表)          国立病院機構呉医療センター 脳神経内科 科長 大下 智彦</p>